

CZ-03 メーターバイザー 取扱・取付説明書

適応機種： YAMAHA
BOLT (EBL-VN04J)

- 販売店様へ
この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ
この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

このたびは、AFメーターバイザーをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

部品構成表

No	部品名称	QTY	No	部品名称	QTY
①	スクリーン	1	⑧	ゴムワッシャー 5mm	4
②	ステール	1	⑨	ウェルナット C-550L	4
③	ステール	1	⑩	ボタンヘッドボルト M8x18	2
④	ホルダー-A	2	⑪	プレーンワッシャー 8mm	2
⑤	ホルダー-B	2	⑫	プロテクションテープ	2
⑥	ボタンヘッドボルト M5x20	4	⑬	取扱・取付説明書	1
⑦	プレーンワッシャー 5mm	4			

メーターバイザー取扱について

⚠ 注意

- 走行前に取り付け状態を点検し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。
- スクリーン汚れた場合は多量の水をかけながら柔らかい布か、スポンジで拭いてください。
スクリーンは、傷つきやすいのでブラシなどの洗浄は避けてください。
- スクリーンの汚れがひどいときは、中性洗剤を使用してください。
酸性洗剤、アルカリ性洗剤、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤でのお手入れは避けてください。
またバッテリー液、ブレーキフルードがスクリーンに付着しないようにしてください。
スクリーンのプラスチックを損傷します。
- ボディカバー（車体カバー）をかぶせた状態で駐車する場合は、日陰の風通しの良い場所を選んでください。
ボディカバー（車体カバー）をかぶせて高温下に駐車しますとカバー内に熱がこもり、スクリーンが
変形する場合があります。
- ボディカバー（車体カバー）を使用の際は、スクリーンに無理な力がかからないものをご使用ください。
小さなものを無理にかけますと、スクリーンが変形したり、折れたりする場合がありますので注意してください。
無理に折り曲げたり、強い衝撃を加えますと破損することがありますので注意してください。
- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。スクリーンの構造上、光を集める性質が
有る為、駐車の際は、風通しのよい日陰に駐車してください。
- 取付け時、本機カバーとスクリーンのすき間を10mm以上あけて下さい。
十分なすき間をあげないと本機カバーを傷つけます。

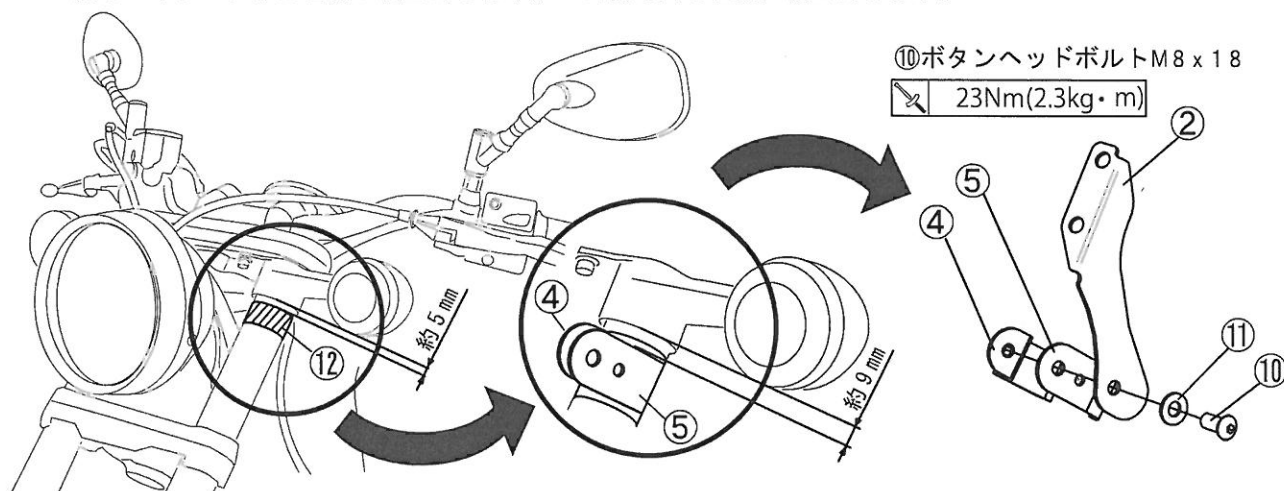
⚠ 警告

- 風の強い日は、風の影響を受けやすいので、スピードを控えめに走行してください。
- 駐車する場合は、安定した場所（路面の固い平坦地）を選んでください。
- スクリーンの著しい傷つきや、黄変がある場合は、十分な前方視界の確保ができない為、
スクリーンの交換を行ってください。
- 走行前に取り付け状態を点検し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。
- スクリュー、ボルト、ナットは確実に締めてください。
締付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を死亡、または重大な傷害に至らしめる
可能性が高くなります。

取 付 方 法

I

はじめに、⑫プロテクションテープを図の様にウインカーの下部より約5mmの所に貼り付けます。次に、④ホルダーA、⑤ホルダーBをウインカーの下部より約9mmの所へ挟みこみテープなどを使い仮止めします。R側も同じ位置に仮止めします。



仮止めした④ホルダーA、⑤ホルダーBに②ステーを⑪プレーンワッシャー8mm ⑩ボタンヘッドボルトM8 x 18で仮止めします。R側も同じ様に仮止めします。

II

仮止めした②ステーL、③ステーRに⑨ウエルナットを差し込みます。

①スクリーンをあてがい②③ステーの位置をシールドの穴位置に合うように②③ステーの位置を調整します。

⑥ボタンヘッドボルトM5 x 20、⑦プレーンワッシャー5mm、⑧ゴムワッシャー5mmを使い①スクリーンを取付けます。

①スクリーンが、ヘッドライトやメーターに干渉しない事を確認し、位置が合わないようなら再度ステーの位置を調整します。

👉 アドバイス

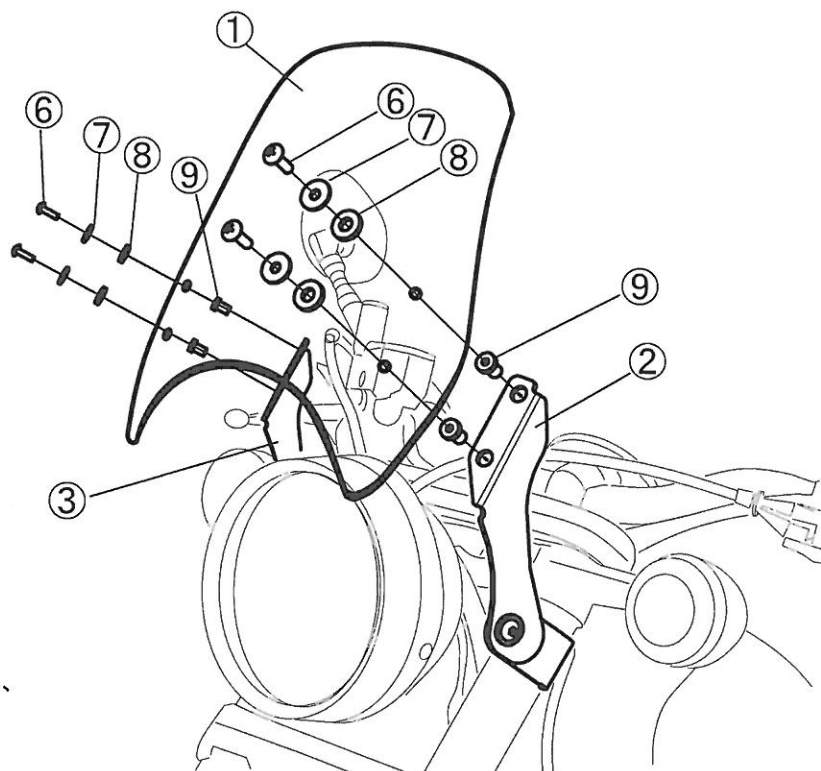
ステーに⑨ウエルナットが差し込みにくい場合は、ウエルナットにビスを少しねじ込み六角レンチを使って差し込むと入れやすいです。



⑥ボタンヘッドボルトM5 x 20

0.5~0.6Nm(0.05~0.06kg·m)

正しい位置に調整が出来たらビス、ボルトを本締めして完成です。



警告

組付け後と走行前に取り付け状態を点検し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。締め付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を死亡、または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。